



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

上場会社名 株 式 会 社 ロイヤルホテル
代 表 者 代表取締役社長 川崎 亨
(コード番号 9713 東証第2部)
問合せ先 執行役員財務チーム長 坊傳康真
(TEL 06-6448-1121)

平成 29 年 3 月期個別業績予想値と決算値の差異及び個別決算における特別利益の計上に関するお知らせ

平成 28 年 11 月 11 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期個別業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 29 年 3 月期個別決算におきまして、貸倒引当金戻入額を特別利益に計上しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値と決算値の差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	23,700	1,750	1,550	1,800	17 円 57 銭
今回実績 (B)	23,609	2,276	1,998	2,921	28 円 52 銭
増減額 (B－A)	△90	526	448	1,121	—
増減率 (%)	△0.4	30.1	28.9	62.3	—
(ご参考)前期同期実績 (平成 28 年 3 月期)	26,927	1,456	1,187	507	4 円 95 銭

1. 差異が生じた理由

平成 29 年 3 月期の通期個別業績において、売上高は、概ね予想どおり推移いたしました。

一方損益面では、前回予想より収益性の高い客室部門の売上が好調に推移したこと、及び経費が予想を下回った結果、営業利益、経常利益は、前回予想を上回る結果となりました。

また、当期純利益につきましても、上記の理由に加えて、連結子会社に対する貸倒引当金戻入額を特別利益に計上したこと等により前回予想を上回る結果となりました。

なお、貸倒引当金戻入額は個別財務諸表上で計上されるものであり、連結財務諸表上では相殺消去されるため、連結業績への影響はなく、平成 29 年 3 月期の通期連結業績につきましては、概ね予想どおり推移いたしました。

2. 特別利益の計上について

当社は、当社の連結子会社に係る債権の回収可能性を検討し、貸倒引当金を計上しておりますが、平成 29 年 3 月期末において、回収可能性を見直した結果、貸倒引当金戻入額 730 百万円を特別利益に計上いたしました。

以 上